

**上ノ国の味覚に舌鼓
秋の味覚祭行われる**



9月15日から17日までの3日間「秋の味覚祭」が道の駅上ノ国もんじゅで開催され、延べ2700人が訪れました。

この催しでは、ウニやアワビなどのパーベキューセットが数量限定で販売され、購入した人は、早速、用意された炭火に食材をのせ、上ノ国の味覚を味わっていたほか、じゃんけんにも勝つとアワビが安価で購入できる「アワビじゃんけん」では、多くの挑戦者が勝敗に一喜一憂していました。

また、特産品があたる抽選会やカミゴンかたこもちまきなども行われ、3連休ということもあって会場内は、多くの来場者で賑わっていました。

**上ノ国の魅力を発信
モニターツアーが催行される**



9月の3連休、町内では、交流人口の拡大を図ろうと相次いでモニターツアーが実施されました。9月15日には、宮城県仙台市発着の日帰りツアー（株式会社上ノ国町観光振興公社主催）で20人が訪れ、ウニやアワビなどの特産品を味わったほか、勝山館跡など上ノ国の名所を見学しました。

また、9月16日、18日には「レストランバスで行くひやま日帰りモニターツアー」（檜山7町連携事業主催）で43人が訪れました。

このバスは、その名のとおり車内に厨房、テーブル、座席を備え、最終目的地の上ノ国町までの移動中、乗客には上ノ国産のヒラメなど檜山の食材を使ったイタリア料理が提供されました。

また、厚沢部町、江差町で途中下車し、いも掘りなどを体験。本町では、道の駅上ノ国もんじゅでアワビなどの海鮮焼きを味わったほか、かたこもち作りにも挑戦しました。

参加者からは、「アワビは美味しかったし、かたこもち作りは楽しかった」と満足した様子で話しており、今回のモニターツアーを通じて様々な意見が寄せられています。

農産物の地産地消を目指し



8月31日、町内の飲食店経営者や小売業者を対象とした上ノ国町商工会商業部会・観光部会（ともに岩坂興一部会長）共催による農業研修会が開催され、6事業者が参加しました。

これは、町内で生産される農産物の地産地消と高付加価値化を図ることを目的に行われたもので、サイインゲンや立茎アスパラガス、トマトなどの栽培施設を見学。参加者からは、これらの農産物の生産時期や購入先などの質問が寄せられていました。

参加者の一人で飲食店を営む久末育応さんは「食材となる農産物が多いことに驚いた。」などと話し、生産者との連携に前向きな印象でした。

**児童生徒が
交通安全を呼びかける**



8月27日、上ノ国小・上ノ国中・上ノ国高3校の児童生徒40人による交通安全キャンペーンが江差警察署上ノ国駐在所前で行われました。

はじめに、上ノ国中学校の波佐谷ちひろ生徒会長が「地域の皆さんに交通安全を呼びかけ、事故を減らしたい」と3校を代表して挨拶。その後、江差警察署の白澤仁上ノ国駐在所長らの協力の下、道行くドライバーに「交通事故に気をつけて」と声をかけながらリーフレットなどを手渡していました。

本町では、交通死亡事故ゼロの日数が3600日を超えていますが、北海道内の交通事故での犠牲者数は昨年とほぼ同じペースです。悲惨な事故の加害者、被害者とならないように引き続き交通安全を心がけましょう。